

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2021～22 年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日

会 長 福田 和子

例会場：パレスホテル大宮

幹 事 押野 一郎

第2737例会 2022/06/20

例会日：月曜日 12:30～13:30

雑誌・会報委員会 甘野 幸一

発 行 日 2022/06/27

会長挨拶



会長 福田 和子
皆様、こんにちは。
例会にお集まりいただきありがとうございます。
Zoom で参加の方、お元気ですか。
第 2770 地区 社会奉仕部門委員長 横田 松博 様、お越いただきありがとうございます。

今朝の全米オープンゴルフトーナメントの最終日、ご覧になりましたか。私は4日間テレビに釘付けになって応援しました。松山英樹が猛チャージで追い上げたのですが、4位に終わり残念でした。7月にある、全英オープンゴルフトーナメント（スコットランド セント・アンドリュース オールドコース）に期待します。

今日で昼間の例会は最後となります。「ここに夢を 奉仕に行動を」をスローガンに掲げて、皆様のご協力で一年間、クラブのために活動できました。

振り返りますと、年度初め、染谷年度を引き継ぎ“東京オリンピック・パラリンピックの競技種目の世界記録を観て見よう！”の掲示の前で集合写真を撮りました。それが「ロータリーの友」に大きく掲載され、各方面から反響をいただきました。そして、児童養護施設「カルテット」への自転車寄贈、特別支援学校「大宮ろう学園」への DX のための教育資材寄贈、「ラオ・フレンズ小児病院」への顕微鏡寄贈、熱海豪雨災害への募金やウクライナへの支援といった奉仕活動を行いました。また、銀座のママ白坂 亜紀 様から始まり、多くのかたをお呼びした中身の濃い大型卓話が行われました。こ

れも皆様の大切な浄財とご協力をいただいたからこそです。

本日は、クラブ協議会です。一年間の活動を、各部門から詳しく発表してもらいます。全体の流れとしては、コロナによる影響で中止したり自粛したり、不安でびくびくしながら行ったりと、大変なご苦勞もあったと思います。会員の皆様におかれましては、この一年間の総括をお聞きいただければと思います。そして、次年度 60 周年に引き継ぐことができるよう皆様のご協力をお願いいたします。

来週は、最後の例会になります。多くの皆様のご参加を心待ちにして、これにて会長挨拶とさせていただきます。改めて皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

三浦 隆一 会員



お客様紹介・米山記念奨学生紹介

■第 2770 地区 社会奉仕部門 部門委員長 横田 松博 様（浦和中 RC）

（ご紹介：副会長 新井 清太）

米山記念奨学生のグエンティガンさんは、弟の結婚式で帰国しています。



幹事報告

HANGE LIVE



幹事 押野 一郎

- ①本日、クラブ協議会で年度総括の発表をされる方は、原稿を事務局にいただけますと助かります。
- ②次回 6/27（月）は最終夜間例会です。18 時点鐘です。

心に夢を 奉仕に行動を

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: <http://rc-omiya-west.com/>



お客様ご挨拶

■第2770地区 社会奉仕部門
部門委員長 横田 松博 様
地区社会奉仕部門で6/25(土)
11:00~13:00、さいたま新都心駅
にて、ウクライナ支援の街頭募金
を計画しています。今年度と次年
度のメンバーでやります。寄って
いただけてもかまいません。
ぜひご参加を。大宮西 RC の皆様には、
今年度は熱海や九州の豪雨被害の際もご寄付
いただき、ありがとうございました。



退会の挨拶

■株式会社 NTT ファシリティーズ 島野 良紀
弊社北関東・信越支店の廃止に伴い、6月
末日で退会させていただくこととなってしま
いました。NTT ファシリティーズとしては
2014年から大宮西 RC にお世話になっていま
す。私は、昨年7月前任の川
口より引継ぎ、入会いたしま
した。退会は残念です。これからも奉
仕の理念を抱きながら精進してまい
ります。当 RC の繁栄を祈念します。



クラブ協議会

■長期計画委員会 委員長 荒井 伸夫
今年度は、第2次長期計画の最終年度
に当たります。3年間の総括では、出席
率 90%以上、会員数 150 名、国内外で
の新たな友好クラブ締結の3項目が、
明確に計画未達成です。しかし、その他
は、このコロナ禍でよく頑張ったのではないかと
の評価でした。次年度に向けて、第3次長期計画を策定
しました。コロナ禍での対応、60 周年記念事業との
関係、増強後のあるべき姿、奉仕活動の見直し(新し
い方向性)、RC への関心(好きになってもらう)など
を考慮して検討し、2/14 の例会で卓話のなかで発表。
次年度のクラブビジョンは「多くの機会をつくり、多
くの人と繋がり、更なる奉仕の高みを目指そう」。皆
様のロータリー活動の一つの指針となれば幸いです。
一年間ありがとうございました。



■東京オリ・パラ特別委員会 委員長 島村 まり子
チケットは用意したのですがコロナの影響で観戦
できませんでした。また、ソニッ
クシティに世界記録の掲示をするにあた
っては、多くの皆様に盛り上げていた
きありがとうございました。



■60 周年特別委員会 委員長
伊田 雄二郎

オーストラリアで開催の世界大会に 60 周
年事業として参加を検討しましたが、コ
ロナ禍の動向が読めず断念いたしました。

2023 年春、環境問題をテーマとした講師を招き、地
球環境を考える講演を目玉とする方針を決定しま
した。式典のやり方や記念誌等については、次年度への
申し送り事項としました。

■プログラム委員会 委員長 高橋 真貴子

①年4回の大型卓話の開催 ②年8回のその他卓話
の開催 ③創立記念例会をプログラム委員が担当し、
出席率向上、会員増強に役立てるようにと目標を立



てました。大型卓話は、①銀座のママ 白
坂 亜紀 様、②盆栽家の山田 香織 様、
③元シェイプ UP ガールズの中島 史恵
様、④元海上自衛隊 海将 伊藤 俊幸 様
をお呼びしました。その他の卓話は、①
地区出向者の年度方針、②SDGS につ
いてさいたま市役所 徳田様、③2022 年経済展望 ぶ
ぎん地域経済研究所 土田 浩 様、④佐藤栄学園の田中
淳子 理事長 の4回です。また、創立記念例会には、
元衆議院議員 金子 恵美 様をお招きしました。
前半はコロナに振り回され、例会は直前までリアル
開催できるかわからず、先方の都合でキャンセルせ
ざるを得ないなど予定が立たず、常にバタバタして
いました。後半に入りやっとリアルでできるようにな
った時には、私自身が入院や身内に不幸があり思
うように活動できず、会長・幹事・山崎 副委員長を
はじめ、委員の皆さん、事務局の方にはかなりのご協
力をいただきながら、何とか無事に本年度を終える
ことができました。ありがとうございました。

■クラブ管理運営部門 部門委員長
小林 政良

親睦委員会・会員研修委員会・出席委員
会で運営しました。コロナ禍という事
もあり、なかなか全ての活動を行う事が出
来ませんでした。が、約2年のコロナ禍で、ハイブリ
ッド例会やその他の活動に関しまして、いろいろな
ことを考え活動をしていく事が出来たのではないかと
思います。この様な事態になった場合における、活
動の方法を構築する事ができたと思います。皆様、1
年間ありがとうございました。



■親睦委員会 委員長 岡部 勉

皆様、ご協力ありがとうございました。12月
クリスマス例会は、ご家族にもおいで
いただき盛り上がりました。1月新年初例
会では、二胡の演奏のほか、福笑いをして
大笑いで本年をスタートできました。親睦旅行がで
きなかったのが残念でした。



■会員研修委員会 委員長 伊田 雄二郎

コロナ禍で集合研修は自粛しました。会員イニシ
エーションスピーチは、3回8名の方に実施してい
ただきました。入会間もない新しい会員の方々の人
なりを理解できた、有意義な時間でした。

■出席委員会 委員長 関根 正也

出席率前年の5%Upを目指してスター
ト致しました。入会1,2年次会員だけで
「例会に出席したくなる企画」を話し合
う懇親会を考えておりましたがコロナ
禍で実施出来ませんでした。5月までの
集計ですが、今年度の出席率はメークアップも含め
54.6%にとどまりました。出席率を伸ばせず、申し訳
ありませんでした。やはり、対面例会「懇親の場」が
大切であり必要だと思います。その様な中ですが、お誕
生日祝い例会に「誕生日席」を設けケーキを用意い
たしたのは大変うれしく思いました。少しは出席率ア
ップにつながったかなと思っています。一年間、あり
がとうございました。



■広報・公共イメージ部門 部門委員長 川井 理砂子
一年間、クラブの活動や RC の良いところ、福田年度
ならではのカラーを内外にアピールすべく活動して
まいりました。当初は緊急事態宣言下で会員同士が
会えない状況でしたので、会員への情報発信にも力

を入れました。
環境問題意識向上委員会では、企業におけるSDGsの取り組みについての卓話をしていたいただきました。
雑誌・会報委員会は、週報の作成、ロータリーの友の解説を主にやってきました。オリンピックの壁面掲示を“ロータリーの友”に掲載していただきました。染谷年度から始まったYouTube 会長チャンネルも更新。また、児童養護施設カルテットに自転車を寄贈した件は、埼玉新聞に掲載していただきました。9月の担当例会では、テーブルディスカッションを企画しましたが、実施できず残念でした。



■環境問題意識向上委員会 委員長 緒方 学

コロナの影響で計画していたことができませんでした。コロナに罹患してしまったこともあり、反省すべきこともありますし残念な気持ちです。次年度も環境教育を担当する予定ですので、引き続きやっていきたいと思っています。1年間ありがとうございました。

■会員増強維持委員会 委員長 胡 平
本日は、部門委員長の高橋誠一氏が欠席の為、代わってお話します。
次年度では第一に出席率を向上させることが重要だと思えます。そして、ロータリー仲間同士の仕事上の交流・関係・情報交換等の連絡を取り合い、協力してお互いの事業の発展を目指していけば、おのずと仲間が増えて会員増強に繋がっていくでしょう。
今年度の会員数は、6/30付の退会者1名を入れて合計3名の退会者、入会者は2名になりました。これからコロナも終息に向かうと思われますので、会員間の交流を増やししながら会員増強のための声掛けを、継続的にお願いしたいと思っています。



■財団支援部門 部門委員長 竹内 雅人

ロータリー財団委員会と米山記念奨学委員会があります。地区の財団では、資金への配分などが変化しています。卓話をお願いして教えていただきました。福田会長・清水会員にはベネファクターありがとうございました。
米山としては、優秀なグエンティガンさんが来ています。日本の背景・文化などとてもよく勉強してくれていて、日商簿記2級にも合格しました。ベトナムとの架け橋になってくれるものと思います。



■ロータリー財団委員会 委員長 荒井 理人

当委員会では、大宮西のロータリーメンバー全員が財団について深くよく理解している会になることを目指す、という趣旨で年度をスタートさせました。事業としては、パストガバナーの中川 高志 様に卓話をいただき、ロータリー財団、国際ロータリーと財団の使命、財団のプログラム、資金の配分、寄付金の流れ、グローバル財団について解りやすく説明していただきました。1年間ありがとうございました。

■奉仕部門 部門委員長 井上 勝美

当部門は職業奉仕委員会 吉田委員長、社会奉仕委員会 風岡委員長、国際奉仕委員会 増永委員長、シスター

ークラブ委員会(国際大会参加含む) 矢部委員長の4委員会にて年度計画書に基づき運営して参りました。南投 RC との調印式、ヒューストン国際大会参加、タイ バンコク スリウォン RC 訪問、ラオ・フレンズ小児病院の訪問ができず残念でした。1年間ありがとうございました。



・社会奉仕委員会 7/28、児童養護施設 カルテットへ自転車を 10 台寄贈し贈呈式を行いました。「自転車に乗るのが初めて」という子どももいたようで大変感謝されました。贈呈後、早速子どもたちが嬉しそうに施設内を自転車で走り回っていた光景が印象的でした。8/2の例会で福田施設長に卓話をいただきました。8/16、埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園に TV モニターを寄贈いたしました。12/13の例会に校長の荒井宏昌様をお招きして、贈呈式を行い、活用状況の卓話をいただきました。

・職業奉仕委員会 吉田委員長と1/31に、氷川神社 奥竹荘での公式参拝例会を企画しておりました。が、新型コロナまん延防止等重点措置が発令され、中止となりました。



■国際奉仕委員会 委員長 増永 裕樹
今年度は、ラオスのラオ・フレンズ小児病院へ顕微鏡を提供しました。コロナ禍の影響で事業は、対内外ともに基本的にオンライン、具体的には Zoom やメールでのやりとりが中心で、委員会も Zoom 開催となり残念でした。

一方、担当例会はオンラインを通じてのふれあいとなりましたが、先方の赤尾様が知恵を絞ってくださり、臨場感がある内容となりました。顕微鏡という専門的な機器の現場での活用方法を具体的に示していただいたことで、クラブの支援がどのような価値があるかという認識を浸透させる一助になったと思っています。1年間のご支援、ありがとうございました。



■シスタークラブ委員会

シスタークラブ委員長 矢部 正博
台湾・南投ロータリークラブに表敬訪問し、5年更新の調印式を行う予定でしたが、コロナ禍で中止となってしまいました。そのため、少しでもシスタークラブを感じていただくために、例会時に台湾料理を提供させていただきました。また、ヒューストンで開催されました国際大会にも参加できなかったため、国際大会に参加の経験のある荒井会員と内山会員に国際大会についての卓話をさせていただきました。大変有意義な卓話になり、国際大会の理解が深まりました。

■青少年奉仕部門 部門委員長 横溝 一樹

主な活動の柱である留学生派遣及び受け入れ事業は、コロナ感染症の影響で、青少年交換・日韓インターアクト交流ともに本年度も取りやめとなってしまいました。また、インターアクトクラブの方も積極的な活動ができない状況にありました。



そのような中ですが、5月の担当例会では藤池会員・小島会員の留学生受け入れの体験談を通じて青少年奉仕活動の意義をお伝えいただきました。また米山記念奨学生のグエンティガンさんを「ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)」に送り出し、研修を受けてもらいました。クラブとしてもまたガンちゃんにとっても成果のある活動になったのではないかと感じております。ありがとうございました。